



岡山県原水協通信

2012年 8月16日 No233
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市北区西島田町 4-25
TEL086-244-4526 (F)805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

2012年世界大会 核兵器禁止条約の交渉開始を

原水爆禁止2012年世界大会は8月2～4日の国際会議、4～6日の世界大会一広島、8～9日の世界大会一長崎と行われ、8月6日の閉会総会「ヒロシマデー集会」には7200人が参加、各国政府と市民の連帯で核兵器禁止条約の交渉開始を実現させようと決意をかためました。

岡山県原水協は2012年世界大会に国際会議、広島、長崎大会に166人（広島デー集会59人、子ども15人を含む）が参加しました。また青年グループPPOから37人が参加しました。（写真右 世界大会・広島閉会総会8/6）



挨拶されるケイン国連軍縮上級代表 8/9長崎市

ケイン国連軍縮上級代表あいさつ 「みなさんは歴史の正しい側に立っています。」

国連のアンゲラ・ケイン軍縮担当上級代表は6日の世界大会「ヒロシマデー集会」と長崎大会に出席され、パン・ギムン国連事務総長のメッセージを紹介し挨拶されました。パン・ギムン事務総長は原水協が取り組んでいる「核兵器全面禁止のアピール」署名を「市民一人ひとりを軍縮プロセスに参加させる運動である」と評価し、「私は核兵器廃絶という崇高な目標を達成する運動で、みなさんのパートナーであることを光栄に思います」と紹介されました。

ケイン上級代表は核兵器廃絶という崇高な大義の未来は運命ではなく、一人

ひとりの懸命の努力にかかっていることを強調され、核の脅威をなくす方法は唯一、核兵器を禁止し完全になくすことであると訴えられました。

ケイン氏は「人類に利する共通の大義を抱えた運動をしている皆さんに世界が連帯している」と激励され、最後に「みなさんは歴史の正しい側に立っています。その活動が核兵器廃絶の課題で成功を収めるよう願っています」とのべられました。

多彩な運動を反映した大会

原発ゼロをめざす運動のひろがりや、原爆写真展、署名運動、自治体との共同など核兵器禁止・廃絶を目指すさまざまな運動が交流され、草の根のとりくみが国際世論を作り出していること、核兵器禁止条約の交渉開始をなんとしても実現させようと決意を固めた今年の世界大会でした。

水島で 被爆体験の継承を 報告会



水島原水協は8月15日、原水爆禁止世界大会報告会を開きました。

大会には倉敷医療生協全体で27人が参加、22人が青年の分

科会に参加し、被爆者の証言を聞きました。参加した全ての青年が被爆者の話に強い衝撃を受け「被爆は過去の出来事ではない」「核兵器の恐ろしさを感じた」「被爆体験を青年が継承していかなくては」と感想を述べていました。この日の報告会には世界大会参加者を中心に35名が出席しました。